

令和4年度 第2回認知症施策事業推進委員会
次 第

日時 令和5年2月22日（水）午後7時から

場所 Web会議及び小金井市役所第二庁舎801会議室

1 開会

2 議題

- (1) 令和4年度認知症施策事業の実績報告について【資料1】
- (2) チームオレンジ設置に向けた基本的な考えについて【資料2】

3 その他

4 閉会

【配付資料】

- (1) 令和4年度における認知症関連事業の実施実績（速報値）
- (2) 小金井市チームオレンジ設置に向けた基本的な考え（案）

令和4年度における認知症関連事業の実施実績（速報値）

No.	項目	目標値 ^{※1}	実施内容	達成 ^{※2} 度合	成果 ^{※3}	備考欄
1	認知症地域支援推進員連絡会	令和5年度 認知症相談窓口 認知度50% ↓ 月1回実施	○各地域包括支援センターに推進員を配置。市と推進員とで月に1回認知症関連事業に関する協議を行う。 ○相談窓口の認知度向上へ向けた検討を行う。	A	○市と推進員とで情報共有、各種事業の検討を行っている。 ○4月から毎月対面にて開催した。	
2	認知症地域支援推進員連絡会 ワーキンググループ	月1回実施	○推進員同士が月に1回認知症関連事業に関する協議を行う。 ○相談窓口の認知度向上へ向けた検討を行う。	A	○推進員同士の情報共有、各種事業の検討を行っている。 ○4月から毎月対面にて開催した。	
3	認知症施策事業推進委員会	年2回実施	○認知症の方本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるとともに、その家族が安心できるよう、引き続き認知症施策について、検討・推進する。	A	○第1回：令和4年6月8日（Web及び対面） ○第2回：令和5年2月22日（Web及び対面）	
4	認知症連携会議	年1回実施	○新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の動向を見定めながら、事例検討等を交えた多職種の連携強化を図る研修等を実施する。	A	○実施日：令和5年2月15日（Web開催） ○内容：認知症検診事業、認知症初期集中支援事業における事例検討 ○参加者数：人	
5	認知症検診	受診率 近隣他市同等	○認知症に関する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、早期発見・早期対応を図る。	B	○実施期間：（70～74歳）令和4年6月1日～令和4年12月28日、（75～79歳）令和4年9月1日～令和5年3月31日 ○検診実施機関数：17医療機関 ○受診数：55人 ○受診券等送付数：11,705通 ○受診率：0.5%	
6	認知症初期集中支援事業	相談件数 年3件	○認知症が疑われるものの医療等の支援を受けていない市民を対象に、専門職によるチームで訪問し、支援を行う。	A	○3件	
7	認知症サポーター養成講座	令和5年度 8,150人 ↓ 令和4年度中 650人増	○認知症について正しく理解し、出来る範囲で支援する「認知症サポーター」の養成講座を実施する。	B	○参加者数：277人 （内訳はNo.8～No.12のとおり）	
8	市民向け（定期開催）	年3回実施 （30人）	○高齢者の介護を担う世代へ向けての取組を検討していく。	B	○第1回：6月4日 17人 ○第2回：9月17日 6人 ○第3回：2月15日 人	
9	ステップアップ講座	年1回実施	○受講後の受講者活用に向けた検討を行う。	B	○3月17日 人	
10	キッズ認サポ	5校 （500人）	○既存の実施校に加え、受入先増加へ向けた調整を行う。	B	○緑小：9月17日 129人 ○南中：1月23日 人 ○二小：2月10日 人 ○東小：3月2日 人 ○一中：3月2日 人	
11	市職員向け	年2回実施 （40人）	○未受講者へ向けたアプローチを行う。	B	○第1回：7月27日 35人 ○第2回：1月18日 人	
12	その他	80人	○高齢者の見守り協定を締結済みの事業者等の受講に向けたアプローチを行う。	A	○住民（4回分）：57人 ○企業・団体（2回分）：13人 ○介護者サービス（2回分）：20人	
13	認知症講演会	年1回実施	○コロナの動向を見定めながら、市民への普及啓発事業について検討を行う。	A	○実施日：令和4年11月10日（お元気サミット介護みらいフェス） ○内容：（第一部）のぞみメモリークリニック木之下院長による講演、（第二部）認知症本人と支援者によるパネルディスカッション ○参加者数：44人	

No.	項目	目標値※1	実施内容	達成度※2	成果※3	備考欄
14	やすらぎ支援事業	訪問回数 100回	○軽度の認知症状がある高齢者にボランティアが訪問し、話し相手、声掛け等の援助を行う。 ○コロナの動向を見定めながら、支援員の交流会の実施可否について検討を行う。	B	○やすらぎ支援連絡会：(第1回)5月16日、 (第2回)1月19日 ○支援員数：6人 ○利用者数：11人 ○訪問数：73回(電話による傾聴36回を含む。)	
15	家族介護継続支援事業	参加者数 (115人)	○認知症高齢者を介護する家族に対する交流会や講習等の機会を設け、情報共有や身体的・精神的負担軽減を図る事業を実施する。	B	○参加者数 87人 (内訳はNo.16～No.18のとおり)	
16	まなぶ・語る・つながる ～家族の会～	参加者数 (30人)	○ひがし地域包括支援センターへの委託事業 ○偶数月の第2土曜日に実施する。	B	○第1回：4月9日 0人 ○第2回：6月11日 3人 ○第3回：8月13日 6人 ○第4回：10月8日 7人 ○第5回：12月10日 6人 ○第6回：2月18日 人	
17	認知症家族の集い	参加者数 (25人)	○緑寿園ケアセンターへの委託事業 ○年5回実施する。	B	○第1回：5月7日 5人 ○第2回：7月2日 3人 ○第3回：10月1日 2人 ○第4回：12月3日 4人 ○第5回：3月4日 人	
18	認知症高齢者を支える家 族の集い	参加者数 (60人)	○本町高齢者在宅サービスセンターへの委託事業 ○毎月第1土曜日に実施する。	B	○第1回：4月2日 2人 ○第2回：5月7日 4人 ○第3回：6月4日 5人 ○第4回：7月2日 11人 ○第5回：8月6日 3人 ○第6回：9月3日 3人 ○第7回：10月8日 15人 ○第8回：11月5日 6人 ○第9回：12月3日 2人 ○第10回：1月7日 人 ○第11回：2月4日 人 ○第12回：3月4日 人	
19	家族介護継続支援事業担 当者連絡会	年2回実施	○上記3事業の担当者連絡会を開催	A	○第1回：6月2日 ○第2回：2月24日	
20	認知症チェックシステム	アクセス数 4,500件	○早期発見及び普及啓発を図るため、認知症の初期スクリーニングシステムを運用する。 ○市報等に掲載し、周知を図る。	A	○アクセス数：5,419件	
21	見守りシール事業	令和5年度 10人 ↓ 令和4年度中 2人増	○市報、ホームページ等により周知を図る。 ○コロナの動向を見定めながら、搜索模擬訓練の実施に向けた検討を行う。	B	○搜索模擬訓練実施数：5回(貫井けやき公園4回、梶野公園1回) ○新規登録者数： 人 ○アプリ登録者数： 人	
22	徘徊高齢者探索サービス	令和5年度 貸与件数14件 ↓ 年度末利用者数 9件	○市報、ホームページ等により周知を図る。	B	○警備員派遣 新規：0人 令和4年12月末利用者数：0人 ○保険付帯 新規：4人 令和4年12月末利用者数：6人	○警備員派遣については、委託事業者から、現行のサービスを令和4年3月末で終了する旨の連絡があり、新規受付を終了するとともに、経過措置として現在サービスを利用中の場合に限り、令和5年3月末までサービスの継続を可能としている。
23	認知症予防の通いの場	年2回実施	○認知症検診受診者の受け皿として、認知症予防、居場所づくりの場として開催をしていく。	A	○第1回：7月15日 7人 ○第2回：11月15日 8人	
24	チームオレンジの設置に向け た検討【新規】	一体的支援の実施 (年1回)	○本人・家族がともに活動する時間を設け、他の家族や地域との交流を行う一体的支援事業を実施する。運営にはボランティア等に関わってもらい、チームオレンジ設置の足掛かりとする。	A	○実施日：令和4年10月18日 ○内容：音楽鑑賞・合唱、回想法 ○参加者数：4組7人	

No.	項目	目標値※1	実施内容	達成度合※2	成果※3	備考欄
25	認知症カフェ	令和5年度 11か所 ↓ 年24回実施	○各圏域ごとに実施する。	A	○きた「桜町オレンジカフェ」 第1回：4月16日 23人 第2回：5月21日 25人 第3回：6月25日 18人 第4回：7月30日 16人 第5回：9月17日 20人 第6回：10月15日 22人 第7回：11月26日 25人 第8回：12月17日 19人 第9回：1月21日 人 第10回：2月25日 人 第11回：3月18日 人 ○みなみ「にしの台カフェ」 第1回：5月24日 13人 第2回：7月26日 15人 第3回：9月27日 13人 第4回：11月22日 13人 第5回：1月24日 人 第6回：3月28日 人 ○みなみ「ミニカフェ」 第1回：4月26日 2人 第2回：6月28日 2人 第3回：8月23日 2人 第4回：10月26日 1人 第5回：12月20日 未実施 第6回：2月28日 人 ○ひがし「なごみカフェ」 第1回：6月22日 2人 第2回：9月28日 7人 第3回：12月21日 8人 第4回：3月15日 人 ○ひがし「ひだまりカフェ」 第1回：4月23日 5人 第2回：5月28日 8人 第3回：6月25日 7人 第4回：7月23日 6人 第5回：9月24日 4人 第6回：10月22日 9人 第7回：11月26日 8人 第8回：12月24日 9人 第9回：1月28日 人 第10回：2月25日 人 第11回：3月25日 人 ○にし「花物語カフェ」 第1回：5月22日 10人 第2回：7月24日 未実施 第3回：9月25日 7人 第4回：11月27日 11人 第5回：1月29日 人 第6回：3月26日 人	
26	研修・その他	—	○適宜研修等に参加する。 ○世界アルツハイマーデーに合わせた展示等を行っていく。	—	○世界アルツハイマーデーに合わせた展示 第二庁舎：9月12日～9月22日 図書館：9月12日～9月22日 ○お元気サミット・介護みらいフェス 小金井 宮地楽器ホール ：11月10日・11日	

※1 は、第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画で示す目標値
 は、市にて単年度目標として設定した目標値

※2 「A」：目標値を達成している。
「B」：目標値を達成していないが、事業は進捗している。
「C」：目標値を達成しておらず、事業進捗が見られない。

※3 特段の記載がない場合は令和4年12月28日現在における成果（実施日等は予定を含む。）3

令和4年度における 認知症関連事業の実施実績

参考資料

認知症講演会の概要

日時：令和4年11月10日（木）午後2時00分～午後3時30分

会場：小金井 宮地楽器ホール 小ホール

内容：【第一部】 認知症講演会

講師 木之下 徹 氏（のぞみメモリークリニック院長）

司会 三澤 多真子 氏（小金井メディカルクリニック院長）

【第二部】 認知症パネルディスカッション

出演 野村 義子 氏

能任 智子 氏（とうきょう認知症希望大使）

青山 聡子 氏（のぞみメモリークリニック）

阿部 民子 氏（のぞみメモリークリニック）

間漣 由紀子 氏（くらしの保健室たま）

認知症講演会（第一部）の様子



認知症講演会（第一部）の様子



認知症講演会（第二部）の様子



認知症講演会（第二部）の様子



認知症講演会アンケート結果

概要

参加者数44人

うちアンケート回答者数42人（回答率94.45%）

評価

選択肢	人数	回答率
とてもよかった	31	73.81%
よかった	7	16.67%
どちらともいえない	1	2.38%
あまり良くなかった	0	0.00%
よくなかった	0	0.00%
未回答	3	7.14%
計	42	100.00%

認知症講演会アンケート結果

評価の理由

- ここでしか聞けない医師や当事者の話を聞いたので良かった。（同意見多数）
- 木之下先生のお話も能任さん、野村さんのお話もととても良かったです。
勉強になりました。（同意見多数）
- 当事者の方のお話に感動しました。
- 当事者の前向きな言葉がととても良かった。
- 当事者の方のお話はとても新鮮でした
- これからの人生、楽しく笑いあいやっていきます。
- 時間がたりなかった。
- とてもよかったが、時間が不足し話ごとんでしまい残念でした。
- 認知症1,000万人時代とはビックリしました。
「自分ごと」「他人ごと」を少し理解できたような気がします。
- 木之下先生の他人事とみるか自分事とみるかというお話はととても理解でき、
見方を変えることで違って見るととても納得しました。

搜索模擬訓練の概要

内容：スマホアプリ「みまもりあい」に、訓練用の行方不明者情報を発信し、参加者にはアプリに発信された情報を基に行方不明者を検索してもらい、行方不明者を発見した数に応じて景品を渡すことで、アプリダウンロード者数の増加や認知症施策・地域包括支援センター等の普及・啓発を図る。

日時等：

実施場所	実施日	参加人数	
		アプリ参加	同伴参加
貫井けやき公園	4月 9日 (土)	28	32
	7月 2日 (土)	9	5
	10月 1日 (土)	7	3
	12月10日 (土)	10	6
梶野公園	10月30日 (土)	48	—
	小計	102	46
	合計	148	

搜索模擬訓練（貫井けやき公園）の様子



搜索模擬訓練（貫井けやき公園）の様子



搜索模擬訓練（梶野公園）の様子



搜索模擬訓練（梶野公園）の様子



一体的支援事業の概要

日時：令和4年10月18日（火）午前10時30分～正午

場所：前原町西之台会館 集会室A

内容：音楽鑑賞・合唱、回想法

参加者数：4組7人

体制：認知症地域支援推進員4人、ボランティア3人、市職員3人

参加者の感想（認知症地域支援推進員の聞き取りによる）：

- 認知症でありながら介護保険のサービスを使ってきていない現状であるため、サービスを使うきっかけになってほしい
- 久しぶりに歌を歌って気持ち良かった、良いリフレッシュになった
- 2人で出掛ける機会があって良かった
- 外出できて良かった。地域包括支援センターの人とも関わる機会となり良かった
- 疲れた

一体的支援事業の様子



令和4年10月18日 西の台会館
ミーティングセンター にしのだい

音楽鑑賞 歌集

大正琴の演奏と共に...



一体的支援事業の様子



小金井市チームオレンジ設置に向けた基本的な考え（案）

1 背景

国の推計では、各年齢層の認知症有病率が平成24年以降も一定と仮定した場合、全国で令和2年は認知症有病率推定値17.2%、認知症有病者数602万人、令和7年は認知症有病率推定値19.0%、認知症有病者数675万人と大きく増加すると推計されています。さらに、令和22年には、認知症有病率推定値21.4%、認知症有病者数802万人まで上昇すると推計されています。

東京都が報告している「令和元年度認知症高齢者数の分布調査」に掲載されている認知症出現率を参考に、市の認知症高齢者数を推計すると、令和7年の認知症高齢者は4,848人、令和22年の認知症高齢者は6,306人と見込まれます。

2 チームオレンジ設置の目的等

認知症の人ができる限り地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組みを整備し、認知症施策推進大綱（令和元年6月18日認知症施策推進関係閣僚会議決定）に掲げる「共生」の地域づくりを推進することを目的とします。

認知症サポーターの量的な拡大を図ることに加え、今後は養成するだけでなく、できる範囲で手助けを行うという活動の任意性は維持しつつ、ステップアップ講座を受講した認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につなげる仕組み（以下「チームオレンジ」という。）を構築します。

3 チームオレンジ設置のイメージ

- (1) チームオレンジには、市において設置する「公設」のものと介護事業所、任意の団体等が設置する「民設」のもの2種類があります。本方針では、前者について記述します。
- (2) 事業実施時には公共施設等の活動拠点を定めた上で実施するものの、小金井市公共施設等総合管理計画に基づく総量抑制の観点から、新たな公共施設の設置等を行わず、既存の資源を活用します。
- (3) チームオレンジには、後述するチームオレンジコーディネーターを配置します。
- (4) チームオレンジによる支援は、原則としてボランティアで行うこととします。

4 チームオレンジ設置に向けた検討

市では、令和7年度のチームオレンジ設置に向け、次のとおり実施するとともに、検討を進めます。

(1) 「認知症サポーター養成講座」及び「ステップアップ講座」の実施について

認知症の理解促進を図るため、幅広い世代の市民に対し、認知症サポーター養成講座等を実施するとともに、より深い理解・行動につなげるために、ステップアップ講座等を実施することにより、支援チーム作りに努めます。

(2) 「認知症の人とその家族の一体的支援事業」の実施について

認知症本人の意欲向上及び家族の介護負担感の軽減と家族関係の再構築等を図るため、認知症の人とその家族の一体的支援事業を実施し、併せて本人からの支援ニーズの抽出に努めます。

(3) 「チームオレンジの設置へ向けた検討」の実施について

認知症地域支援推進員、認知症疾患医療センター等の関係機関と適宜協議・検討を行い、チームオレンジ設置に努めます。

(4) 「チームオレンジコーディネーターの配置」について

チームオレンジの設置へ向けた検討の進捗に合わせて、後述するチームオレンジコーディネーターを配置します。

なお、チームオレンジ設置の前段階で配置することができるものとします。

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
認知症サポーター養成講座の実施	継続実施			
ステップアップ講座の実施	継続実施			
認知症の人とその家族の一体的支援事業の実施	1回実施	複数回実施		
チームオレンジの設置へ向けた検討	継続実施			
チームオレンジコーディネーターの配置		検討	検討・配置	
チームオレンジの設置				設置

5 チームオレンジコーディネーターについて

(1) 実施体制

チームオレンジ設置後の事業実施に当たって、チームオレンジコーディネーターを地域包括支援センター、認知症疾患医療センター等に1人以上配置します。なお、認知症地域支援推進員がチームオレンジコーディネーターを兼務するなど、柔軟な対応を行うことも可能とします。

(2) チームオレンジコーディネーターの業務内容

チームオレンジコーディネーターは、チームオレンジの運営を支援します。具体的には次のとおりです。

ア 認知症の人やその家族の支援ニーズの把握、情報収集

イ 認知症の人やその家族の視点を反映したチームオレンジの活動方針の検討

ウ チームオレンジのメンバーの管理

エ チームオレンジの活動を通じて得られた個人情報の適切な管理

オ チームオレンジの定例会の開催

カ 認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座等の受講勧奨

キ ステップアップ講座を受講した認知症サポーター等による独自チームオレンジの設立支援・運営に関する助言等

ク 企業・職域型の認知症サポーターや小・中・高校生認知症サポーターに対するチームオレンジへの参加の働きかけ

ケ 認知症地域支援推進員、医療・介護の関係機関や小売業・金融機関・公共交通機関など生活関連の企業・団体等との連携体制の構築